

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	神奈川県・清川村	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	第3次清川村総合計画に基づく青龍祭		
4 実施計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第3次清川村総合計画・前期基本計画を踏まえ、次世代に向い村の地域性も刻々と変化する中、変わらぬ村への郷土愛や愛着・誇りを醸成するため、青龍祭を通して先人たちが努力し培ってきた村の歴史・文化資源の保護と伝承を推進する。</p>			
6 実施体制			
<p>清川村が実施に係る全体の企画・調整や補助事業の調整等を行う。担当は、教育委員会事務局社会教育係が対応する。また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青龍祭実行委員会（会長：藤川輝好） ・構成団体（青龍保存会・青龍太鼓保存会・商工共栄会・煤ヶ谷婦人会・文化協会・建設協力会・子ども会連絡協議会・PTA等） 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 3,612 千円	平成29年度申請額： 223 千円
	(2) 実施事業の概要	<p>事業名は青龍祭（せいりゅうさい）。江戸時代天保の頃から昭和初期にかけて煤ヶ谷地区で行われた雨乞いの行事（雄龍・雌龍）を清川村の伝統文化（青龍祭）として再現・継承し、観光立村に寄与するとともに、住民相互のふれあいを深めて、地域福祉の向上と青少年健全育成を図るため、青龍祭を実施する。龍の製作や各作業では、子どもから大人までが参加する。実施にあたり、事業期間は平成29年4月から平成30年3月までに主に実行委員会会議、龍の製作作業、龍の材料となる竹やカヤなどの準備作業等年間を通して行う。</p>	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>村内小中学校の児童・生徒が龍の制作に参加することで、青龍保存会を始め関係団体とのコミュニケーションを通じた住民参画の推進により、多世代間の交流が促進及び地域力の増加につながる。また、青龍祭を通して村の魅力である地域力を情報発信をすることで、村が進める移住・定住施策等へのアプローチが推進される。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
計画について、検討中。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	清川村教育委員会事務局		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	清川村ホームページへのアクセス数 (年間)			関連事業 :	事業①	
目標値 1 :	平成 26 年度 859,167 件 ⇒ 平成 33 年度 1,756,000 件					
設定根拠 1 :	清川村総合戦略評価指標増加率に合わせて設定。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	清川村への観光入込客数			関連事業 :	事業②	
目標値 2 :	平成 26 年度 1,460,000 人 ⇒ 平成 33 年度 1,936,000 人					
設定根拠 2 :	清川村総合戦略評価指標増加率に合わせて設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

